

# シンポジウム 幻の建築家たちの教え

## ーフィールドワークと実践をつなぐものー

時の試練を経た集落は格好の教科書、その構想者は会うことが叶わない幻の建築家——居住を取り巻く状況が急速に変化している現代においても、いや、むしろ現代においてこそ、フィールドに出向くと多くの学びがあります。しかしフィールドワークは名人芸に近く、定まった方法論はありません。そこで比較居住文化小委員会では、名人たちが何を考え実践してきたのかを広く伝えるべく、16名の濃密なインタビューと直筆のフィールドノートをまとめ、書籍「建築フィールドワークの系譜：先駆的研究室の方法論を探る」を出版しました。

本シンポジウムでは、本書で取り上げた中から4名をお呼びします。第一部は、世界的建築家かつ先駆的フィールドワーカーである原広司氏と古谷誠章氏の講演です。フィールドに何を求めて旅立ち、どのような調査を行ない、その成果が設計の実践にどうつながったかについて解説します。第二部ではこれを受け、布野修司氏が建築計画学の視点から、陣内秀信氏が建築史学の視点から、フィールド研究のトップランナーとしてコメントします。その後は、比較居住文化小委員会のメンバーも加えたパネルディスカッションです。以上の講演と議論を通じて、フィールドワークの現代的な意義をあぶり出します。

**主催：**建築計画委員会 住宅計画運営委員会 比較居住文化小委員会

**日時：**2019年3月6日（水） 17:00～20:30

**会場：**建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

### プログラム（予定）：

17:00～17:10 主旨説明 前田昌弘（主査：京都大学）

<第一部：設計の視点から>

17:10～17:50 講演 原広司（建築家、東京大学名誉教授）

17:50～18:30 講演 古谷誠章（建築家、早稲田大学教授、日本建築学会会長）

18:30～18:40 休憩

<第二部：研究の視点を加えて>

18:40～19:00 コメント 布野修司（滋賀県立大学名誉教授・建築計画学）

19:00～19:20 コメント 陣内秀信（法政大学名誉教授・建築史学）

19:20～20:20 パネルディスカッション 原広司＋古谷誠章＋布野修司＋陣内秀信

モデレータ：清水郁郎（芝浦工大）＋本間健太郎（東京大学）＋稲垣淳哉（早稲田大学）

20:20～20:30 まとめ

**参加費：**会員 1,000 円、会員外 1,500 円、学生 500 円（資料代含む／当日会場払い）

**定員：**200 名（申込み先着順）

### 申込方法：

Web 申し込み <http://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=615792> よりお申し込みください。

**問合せ：**日本建築学会事務局 事業グループ 榎本

TEL : 03-3456-2051 E-mail : enomoto@ajj.or.jp